

令和6年度京都府生活習慣病検診等管理指導協議会がん検診部会 議事概要

協議事項(1)

がん検診事業評価のためのチェックリスト実施率について(令和5年度検診実施体制)

- ・がん検診を効果的に実施するため、住民検診に携わる市町村、検診機関、都道府県は、「事業評価のためのチェックリスト（国立がん研究センター）」による検診体制の整備が求められている。
- ＜市町村＞全がん種において、実施率は前年を上回り、全国平均に近い数値に改善している。
- ＜検診機関＞胃、大腸では全項目達成。肺がんでは、読影医の要件、がん発見例の過去の細胞所見の見直し、受診者への結果通知について未達成。乳がんでは、放射線技師の教育・研修機会、比較読影について未達成。子宮頸がんでは、検体が不適正判定を受けた場合の原因検討やプロセス指標値の把握について未達成。
- ＜都道府県＞全国平均と比較して低く、市町村や検診機関への改善策等の個別のフィードバックが未実施。第3期京都府がん対策推進計画（R6～11年度）では、精検受診率、がん発見率、市町村チェックリスト遵守率を指標として掲げており、目標達成に向けては、フィードバック方法等を検討。

協議事項(2)

精度管理指標値の評価について(令和4年度受診率及び令和3年度プロセス指標)

胃がん

- ・受診率：4.8%（前年4.6%）。全国6.9%を下回るが、地域差も大きい。
- ・胃がんX線（集団）：実施市町村数25、受診者数16,395人、がん発見数、11人
- ・胃がん内視鏡（個別）：実施市町村数3、受診者数1,323人、がん発見数7人
- ・胃内視鏡検診（個別）の実施市町村数は、R5年度6、R6年度16、R7年度18市町村を予定。

＜プロセス指標＞

- ・市町村胃X線（集団）：要精検率は、5.4%であり、基準値7.7%以下を満たしているが、がん発見率は基準値を下回る。精検受診率90%以上を達成する市町村は11/25市町村。
- ・市町村胃がん内視鏡（個別）：要精検率3.5%、がん発見率0.53%、陽性反応的中度15.2%。胃内視鏡検診おけるプロセス指標値は、国の基準値が未設定であることや、府内の実施市町村の拡大に伴い、受診者数も増加する見込みのため、今後の動向を確認していく。
- ・検診機関胃X線（74歳以下）：要精検率4.1%のみ基準値をクリア。

大腸がん

- ・受診率：4.1%（前年4.2%）。全国6.9%を下回るが、府平均を上回る市町村は23/26市町村。
- ・大腸（集団）：実施市町村数21、受診者数37,232人、がん発見数57人
- ・大腸（個別）：実施市町村数16、受診者数25,836人、がん発見数77人

＜プロセス指標＞

- ・市町村集団：要精検率は6.5%で、基準値6.8%以下をクリアしているが、がん発見率、陽性反応的中度は基準値を下回る。精検受診率は70.2%で、90%以上を達成した市町村は1/21市町村。
- ・市町村個別：要精検率、がん発見率、陽性反応的中度は基準値をクリア。精検受診率は72.0%（全

国 69.0%) で、90%以上を達成した市町村はなし。

- ・ 検診機関（74 歳以下）：要精検率 6.7%のみ基準値をクリア。

肺がん

- ・ 受診率：3.0%（前年 3.0%）。全国 6.0%を下回るが、地域差が大きい。個別検診の実施はなく、全市町村が集団検診のみ実施となっている。
- ・ 肺がん（集団）：実施市町村数 26、受診者数 43,305 人、がん発見数 22 人

<プロセス指標>

- ・ 市町村集団：要精検率 2.5%（全国 1.5%）、がん発見率ともに基準値を満たさず。一方で、精検受診率は、89.1%（全国 85.8%）であり、R2 年度 86.8%からも上昇。基準値 90%以上を達成したのでは 15 市町村（前年 10 市町村）であった。
- ・ 検診機関（74 歳以下）：要精検率 2.4%のみ基準値をクリア。

乳がん

- ・ 受診率：19.3%（前年 18.2%）。全国 16.2%を上回る。
- ・ 乳がん（集団）：実施市町村数 19、受診者数 16,017 人、がん発見数 59 人
- ・ 乳がん（個別）：実施市町村数 21、受診者数 22,236 人、がん発見数 79 人

<プロセス指標>

- ・ 市町村集団：要精検率、精検受診率、がん発見率、陽性反応的中度において、基準値（連続受診者がいることを考慮）をクリア。
- ・ 市町村個別：要精検率 6.8%（全国 6.9%）は基準値を満たしていないが、がん発見率 0.36%は、連続受診者がいることを考慮した場合の基準値を満たしている。また、精検受診率は、95.0%であり、全市町村において基準値 90%以上をクリア。
- ・ 検診機関（74 歳以下）要精検率 4.9%は基準値をクリア。がん発見率 0.38%は基準値を満たさず。

子宮頸がん

- ・ 受診率：11.7%（R3 年度 11.0%）。全国 15.8%より低い、市町村差は大きい。
- ・ 子宮頸がん（集団）：実施市町村数 13、受診者数 8,690 人、CIN 3 以上 14 人
- ・ 子宮頸がん（個別）：実施市町村数 25、受診者数 43,544 人、CIN 3 以上 73 人
- ・ R6 年度から、国指針において HPV 検査単独法が盛り込まれ、府内市町村での導入に向けては、本協議会にてワーキングを設置し、今後の実施体制を検討する。

<プロセス指標>

- ・ 市町村集団：要精検率は 3.3%（全国 1.4%）は基準値を満たしていないが、がん発見率 0.16%は基準値をクリア。精検受診率 88.3%（全国 84.5%）と高い。
- ・ 市町村個別：要精検率は 2.8%（全国 2.4%）は基準値を満たしていないが、がん発見率 0.17%は基準値をクリア。精検受診率は 82.4%（全国 76.5%）、全国より高いが、集団に比べると低い。
- ・ 検診機関（74 歳以下）集団の要精検率は 3.3%、精検受診率 69.4%、がん発見率 0%、個別の要精検率 2.8%、精検受診率 84.9%、がん発見率 0.01%、陽性反応的中度 0.4%。今後は、CIN 3 以上発見率のプロセス指標値把握が必要。